

ムシガレイ

生態的特徴等

【生態】日本海と北海道南部以南の太平洋から東シナ海～渤海にかけて分布する。本県沖では主に水深 200m 以浅に分布する。2～3 歳で成熟し、産卵期は 2～5 月。おおむね 4 歳で 20cm を超え、最大で 40cm 程度になる（図 1）。餌は甲殻類、イカ類、魚類など。

【漁法と盛漁期】主に底曳網で漁獲される。平潟，大津，那珂湊，久慈漁港など底曳網の基地で水揚げが多い。底曳網漁期を通じ安定して漁獲される。

【利用】干物や焼き魚，煮付け等で利用される。

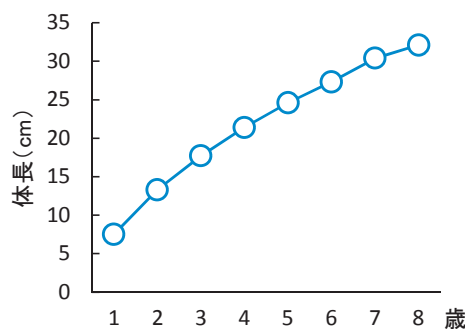


図 1 ムシガレイの成長

資源は高位・増加傾向

（漁獲量）H20 年までは 3～21 トンの漁獲量で推移したが，H21 年に 22 トンを超えてから急激に増加した。H28 年には 100 トンを超えたが，H29 年は 79 トンであった（図 2）。

（水準と動向）水準は，過去の底曳網（小底 5t 以上船）の CPUE (kg/隻・日) の推移（図 3）から「高位」，動向は，直近 5 年間の CPUE の傾向から「増加」とした。

水準



動向

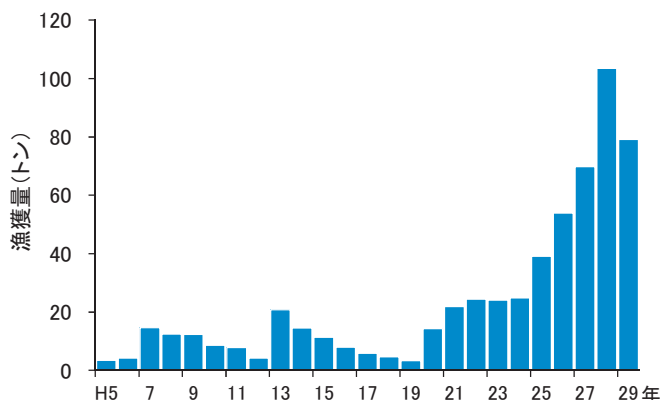


図 2 ムシガレイの漁獲量(水試システム 属地集計)



図 3 ムシガレイの CPUE(底曳網)

【全国の漁獲動向】

茨城県以外の主な産地は，長崎県，島根県など。

評価期間：平成 29 年 1～12 月 更新日：平成 30 年 11 月 1 日